

「教材・教具説明書」

高等部

音楽 演奏支援	
教材・教具名	プラスチックダンボール(カラーボード)をつけた鍵盤楽器
対象生徒	のびのび学級
教材教具写真	
作製・制作のねらい	鍵盤の面積が狭い楽器の使用時に、音を鳴らすことが難しい生徒に対して手首や腕を使って音を鳴らすことができるよう、プラスチックダンボール(カラーボード)を取り付けた。これによって鍵盤の面積が広がり、演奏しやすくなることがねらい。
作り方	プラスチックダンボール(カラーボード)をはさみやカッターで切り取って鍵盤にテープなどで貼り付ける。切り取る際は、手や腕などでもできるように触れる面積を広くとるように気をつける。
教材教具の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音を楽しめる幅が広がる教具で、対象生徒の動きや活動の制限に合わせて応用できる。</li> <li>・ 今までキーボードの演奏をあきらめていた生徒も演奏に参加できそうである。</li> <li>・ グーやパーで鍵盤を押しても音が出せるので指の状態を気にせず音を出すことができる。</li> <li>・ 指の動く生徒が小さいキーを叩いて音を出すことができる。</li> <li>・ 軽くて押しやすく色がついていて分かりやすい。</li> <li>・ 鍵盤の面積が広くなり、無理なく鍵盤を押すことができよう。</li> </ul>
今後の課題・改善点	プラスチックダンボール(カラーボード)が鍵盤からすぐとれてしまわないように取り付け方を工夫する必要がある。全鍵盤につけることは難しいので出せる音が限られる。和音が弾けると歌に合わせた演奏ができる。必要に応じて番号をつけたり、色分けするとさらによい。